

緑の風



令和6年12月7日(土)
流山市立おおぐろの森中学校
第3学年 学年通信
文責 山崎 真

《2学期を振り返って～進路開拓の自己決定へ～》

2学期は学校行事が多く、それとともに進路開拓についても準備を進める時期で、忙しくも充実した時間が流れていたと思います。体育祭や合唱コンクール、けやき祭の活動で、全校の中心として努力し、また集団での調和や協調性、そして表現者や支え手として、一人一人が自分の役割を一生懸命果していました。加えて、世の中が正常化してきたここまでの3年間、学校行事の活動をすべて経験することができたことは、それだけで尊いことなのではないかと考えました。

それらの行事が終わり、いよいよ卒業後の進路開拓、3年間のキャリア形成の仕上げの段階に入ってきました。3者面談が10月下旬から11月上旬に行われたのもつかの間、期末テストを経て進路希望の選定・決定の選択を繰り返してきています。学活や総合の時間では、自分の志望動機や中学校でがんばったことなどを考え、改めて文章などに言語化する活動を進めました。自分の思いを言語化することは、自分の中にある思いを具体的にしていく作業でもあり、問われると自分の考えの曖昧な部分が出てきます。進路開拓を、「通過点」としてとらえて、どのように生きていきたいのか、自分の現時点での夢は何かを大切にしてきました。ここでひとまず自分なりに答えを出すことになり、人や社会に自分の個性をどのような形で活かしていけるのか、その考えを見出していくことにとても苦労している様子でした。何かを選び決めることは、他の選択肢を断ち切ることであります。その結論を出すのは自分に他ならず、またとても勇気のいることです。今までの人生のすべてを活かして、この通過点での最善の決断に迫っていきましょう。

また、自分のことで精一杯になりがちな時期ですが、現在の自分があることは、環境、そして才能でさえ、自分だけで成し遂げて獲得したものではないということを忘れないでください。だからこそ、支え合い、自分だけにとらわれず、周りの仲間のために何ができるのか、仲間とどう過ごしていくのかが大事な課題です。そこから、この時期のテーマとして、「自分の目的、自己決定の過程がぶれないこと(自立)」と「仲間と協調し、仲間の為に行動できる目を持つこと(協働・貢献)」です。自分の志望校の決定やその対策は周りに合わせるのではないと思いますし、個人の頑張りを認め合ったり、時間を守り、教室環境を整えたりすることは、仲間の為に学年のみならずみんなで合わせて行動することだと思います。全体で公共の気持ちよさを保つことは、回りに回って自分のためになることです。この二つの目を持って自分らしさ・周りの人らしさを尊重しあい、一人一人『自律的人間』を目指していきましょう。



《それぞれの未来に向けて、冬休み・3学期は過ごし方を考えよう》

3学期はいよいよ進路開拓の実現に向けて、入試等の一人一人が設定した自分の成果を試す場を迎えます。そのチャンスに向けて、毎日の時間をどう過ごしていったら良いかを考えることが大切です。様々な自分の現状やいまやるべきこと等の情報が、多くの発信源からフィードバックされると思います。そして、そんな中このままでいいのだろうか、今やっていることは本当に成果につながるのか、不安や心配を募らせる時もあると思います。

ただどんなときも、結果に一喜一憂せず、過程を大切にすることを持ってください。結果は後からついてくるものだと思います。自分で決めて取り組んだ毎日のことを自分で認め、そこから必要なことを自分の頭で考え一歩一歩取り組みましょう。とても頑張れる日も、計画を無事達成できる日も、ゲームで終わってしまう日も、寝て終わってしまう日もあるかもしれません。期待した結果が伴わないときもありますし、期待以上の結果が跳ね返ってくるときもあります。どんなときでも、自分を信じ、過程を大切にしてください。そしてそんな自分の変容や成長、ものごとをより広く深く学んでいる時間を楽しんでください。

そして、無理なく、あきらめずに一つ一つ取り組んでください。人間は機械ではないので、その日その日の体調や心の状態に波があることが多いです。そんなあるがままの自分を受け止めながら、次に必要なことは何か、できることは何かを考えていきましょう。こうでなければ、こうしなければ・・・、様々な理想や目標を描きながら、いまの体と心と頭の体力とよく相談して、よい時間を作り出してください。

また、3年生とはいえ、冬休み中はご家族や地域の方との時間も増えると思います。毎年の年末年始、お正月などの年中行事は大事にし、一方でその期間に適した取り組みを考えましょう。また、そのような時間の中で、ご家族と自分が支えてもらいたいことを相談してもいいかもしれません。進路実現に向けて、様々な面で支援してくれていると思います。家族で無理のない範囲で一緒に取り組んでみることも一つです。

その他にも困ったことがあれば、おおぐろの森中に遠慮なく連絡してください。スクールライフノートなどを使うこともよいと思います。学校の先生方もいつでもみなさんを応援しています。

